

2023年度関西四大学

薬物に関する意識調査

集計結果 報告書

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日に関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で15年目を迎えます。

現在の日本における薬物乱用に関する社会情勢について、警察庁組織犯罪対策部発表の「令和4年における組織犯罪の情勢（第2章：薬物・銃器情勢）」によると、薬物事犯検挙人員は前年より減少し、大麻事犯検挙人員も2014年以降、増加傾向にありましたが2022年（令和4年）は5,342人となり前年（5,482人）を若干、下回る結果となりました。しかしながら、29歳以下の検挙者数が全体の7割を占め、また、20歳未満については912人となり、2018年（平成30年）の429人から5年間で倍増しています。これらの推移より、引き続き、若年層への薬物乱用防止の啓発活動が重要であるといえます。

大麻販売の組織化、巧妙化が進み、例えばSNS上では絵文字や隠語を使って大麻や大麻成分入り薬物や食品などを売買するサイトが現れるなど、販売ルートは多様化しています。若年層が大麻や危険ドラッグ等を入手することは難しいことではなくなり、今後も動向を引き続き注視する必要があります。

私たちは、関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を今後も継続して実施することにより、学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

今回も、大学入学前の中学・高校等における啓発活動の成果も反映させるべく、関西四大学の入学直後の新生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新生が大学入学前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接している一方で、引き続き、ごく少数であるが薬物に接触する危険性がこれまで同様に存在していることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月から続くこの調査結果について、真摯に受けとめ、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2024年3月

関西大学学長 前田 裕
関西学院大学学長 森 康俊
同志社大学学長 植木 朝子
立命館大学学長 仲谷 善雄

I 調査対象

対象者数 : 2023年度入学生 27,554名 (関西四大学合計人数)
実施期間 : 各大学により定められた期間 (2023年4~5月)
調査方法 : WEB アンケート
回答数(率) : 20,954名 (76%)

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

— — — 主な回答の集計結果について — — —

質問集計例の一部 下記参照

◇質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

<回答>	2023年度	参考値
有機溶剤 (シンナー、トルエンなど)	75.2%	2022年度との比較-2.6 ポイント
覚せい剤 (シャブ、スピード、エスなど)	86.2%	2022年度との比較+1.0 ポイント
大麻 (マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	92.5%	2022年度との比較+0.4 ポイント
コカイン (コーク、スノウ、クラックなど)	80.9%	2022年度との比較+2.0 ポイント
あへん類 (ヘロインなど)	60.5%	2022年度との比較+0.2 ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	21.0%	2022年度との比較+1.0 ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	63.4%	2022年度との比較+10.5 ポイント
いわゆる危険ドラッグ (脱法ハーブなど)	62.0%	2022年度との比較-4.6 ポイント
知っているものはない	4.0%	2022年度との比較-0.1 ポイント

*脱法ハーブなどの危険ドラッグや有機溶剤という名称に対する認知度が2年連続で低下している一方で、危険な名称に関する全般的な認知度が上がっている (特に MDMA)。

◇質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
誘われたり、勧められたことはない	93.6%	2022年度との比較+0.5 ポイント
購入を勧められたことがある	0.5%	2022年度との比較+0.1 ポイント
使用を誘われたことがある	0.8%	2022年度との比較+0.0 ポイント
無理やり使わされたことがある	0.2%	2022年度との比較+0.1 ポイント
わからない	4.9%	2022年度との比較-0.2 ポイント

*「誘われたり、勧められたことはない」という回答が最も多いが、「購入を勧められた」「使用を誘われた」「無理やり使わされた」と回答した学生も少数ながら存在している。

◇質問15 (ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
いない	89.2%	2022年度との比較+0.4 ポイント
いる(いた)	3.2%	2022年度との比較+0.1 ポイント
わからない	7.6%	2022年度との比較-0.1 ポイント

*「いない」という回答が最も多いが、「いる(いた)」との回答もあり、薬物の所持・使用の可能性が、学生の身近にあることをうかがわせる。

◇質問19 (ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
不可能だ	39.3%	2022年度との比較+1.6 ポイント
かなり難しい	21.7%	2022年度との比較-2.0 ポイント
難しいが手に入る	27.3%	2022年度との比較+1.3 ポイント
手に入る	11.6%	2022年度との比較-0.4 ポイント

*入手不可能だと考えている人が増加しているが、「不可能だ」「かなり難しい」を併せた傾向はほぼ横ばいである。また、難しいが手に入ると考えている人が増加傾向にある。

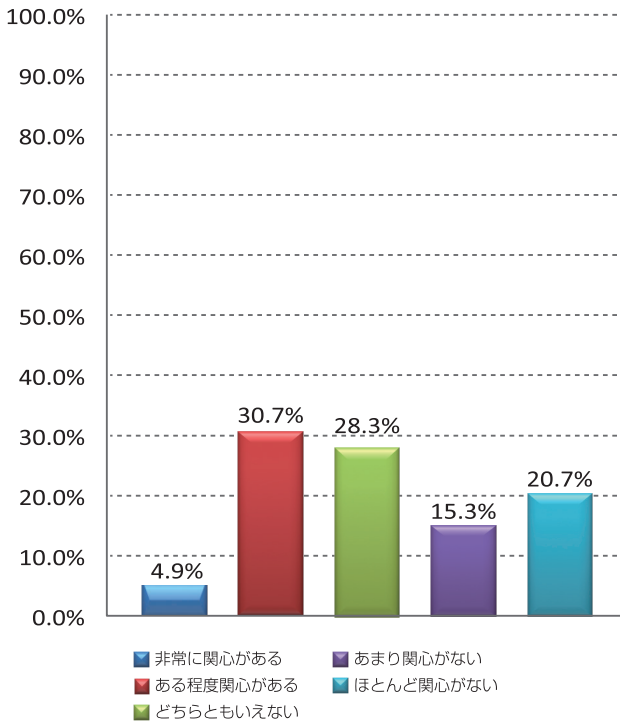
◇質問19 (イ) [質問19 (ア) で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」に○をつけた人だけお答えください] 入手可能と考えた理由は何ですか。(複数選択可)

<回答>	2023年度	参考値
SNS やインターネットで探せば見つけることができると思うから	80.7%	2022年度との比較-8.5 ポイント
SNS やインターネットで販売されているのを見かけたことがあるから	9.0%	2022年度との比較-0.4 ポイント
友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	7.6%	
繁華街などの街中等で販売されているのを見聞きしたことがあるから	20.5%	
それ以外	3.6%	2022年度との比較-3.6 ポイント

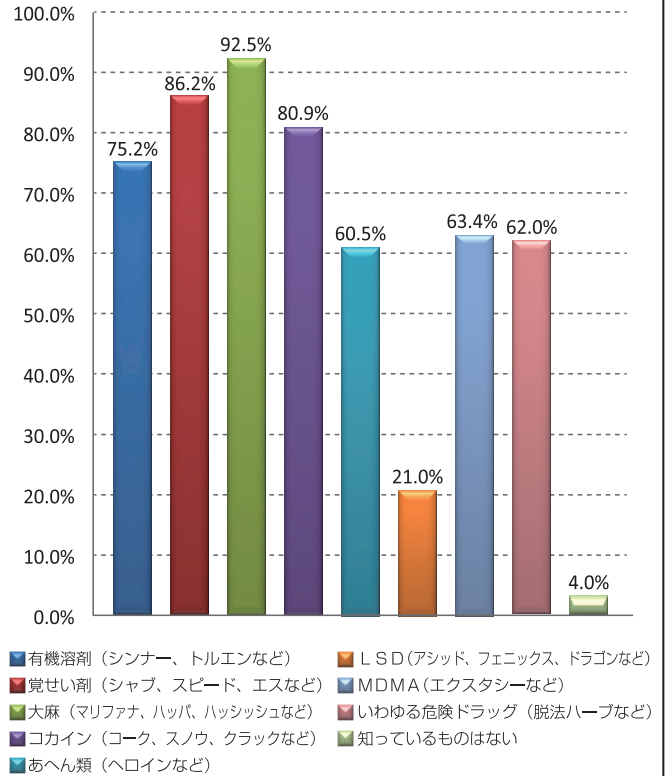
*入手可能と考えた理由について、「友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから」「繁華街などの街中等で販売されているのを見聞きしたことがあるから」という回答が新設され、引き続き傾向の観察が必要である。

関西四大学「薬物に関する意識調査」

共通質問 1) あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択) N=20,954

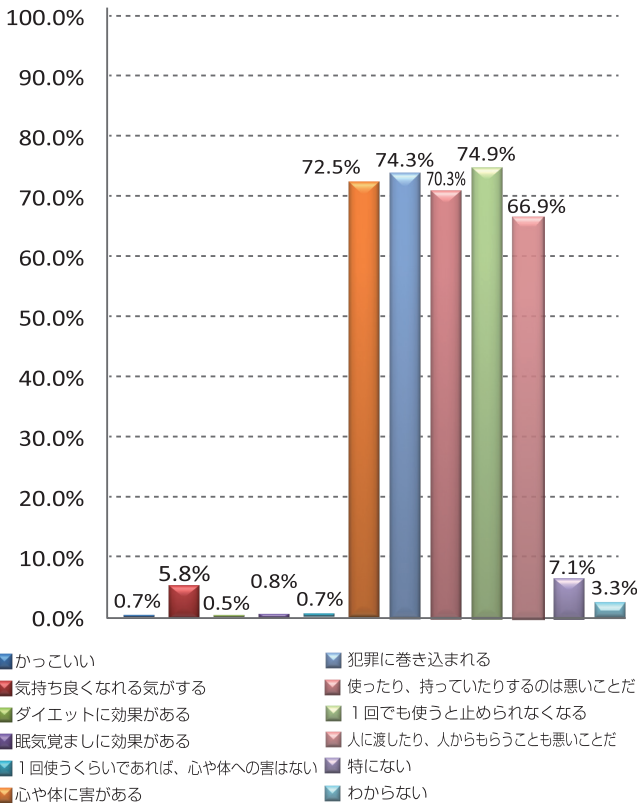


共通質問 2) あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可) N=20,954

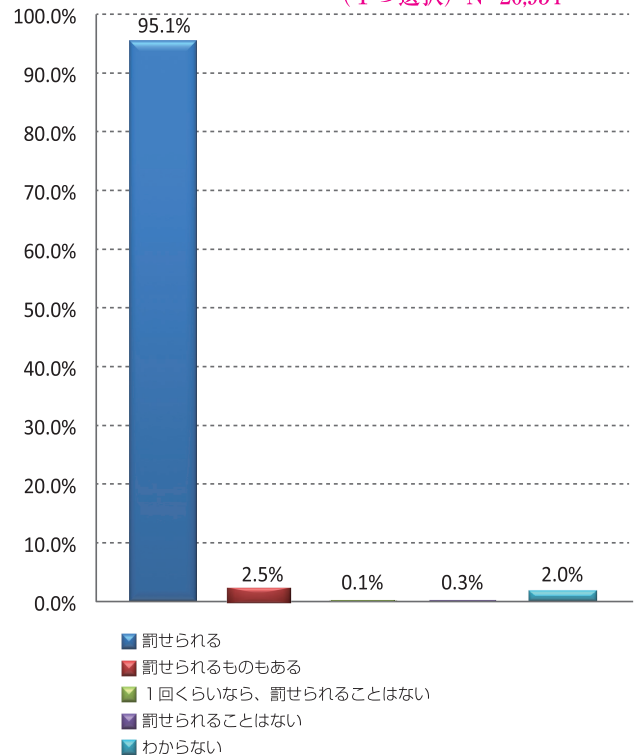


【前の質問であげた薬物についてお聞きします】

共通質問 3) あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数選択可) N=20,954

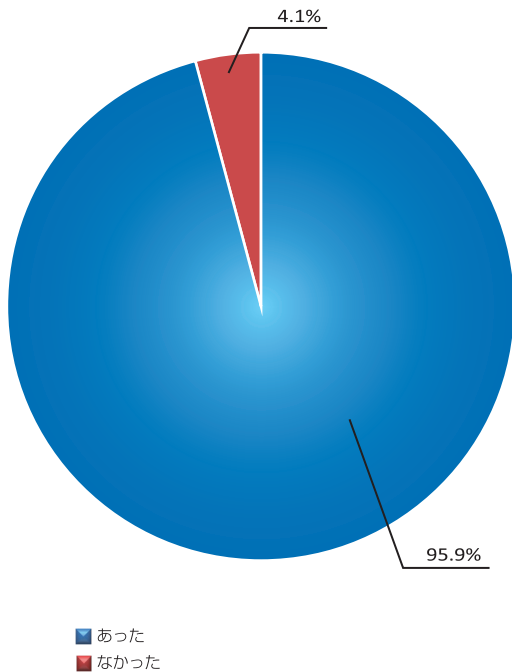


共通質問 4) あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなると思いますか。(1つ選択) N=20,954

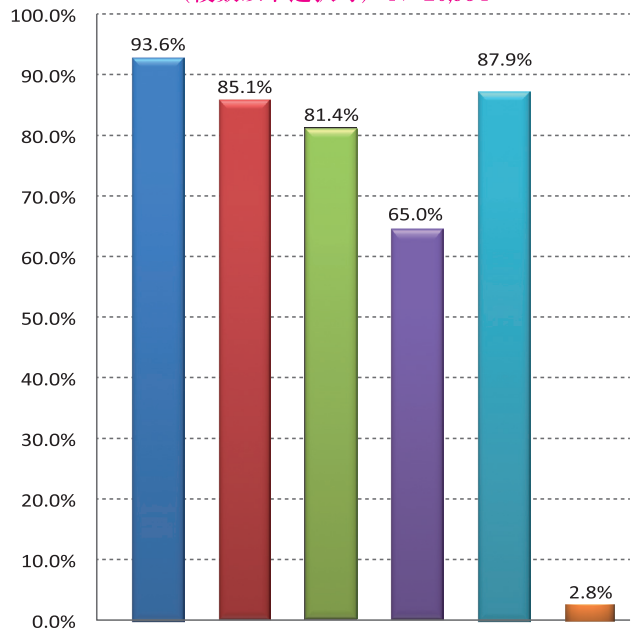


関西四大学「薬物に関する意識調査」

共通質問 5) あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。
(どちらかを選択) N=20,954

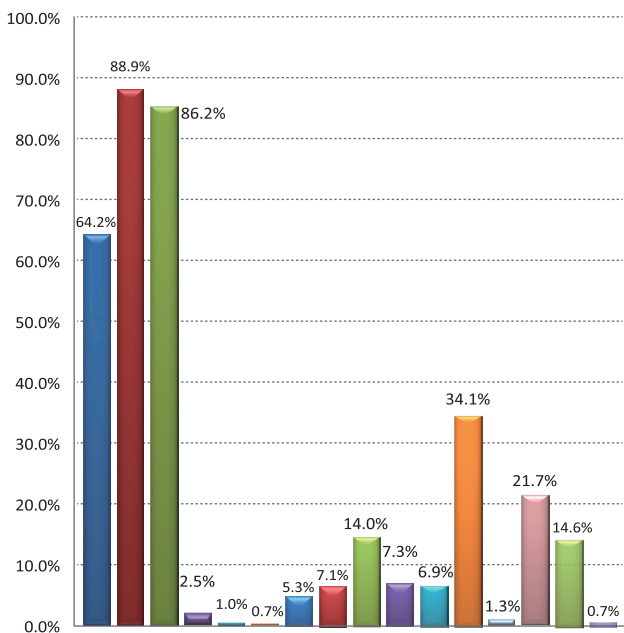


共通質問 6) あなたは、薬物を使った場合、以下になることがあるのを知っていましたか。
(複数以下選択可) N=20,954

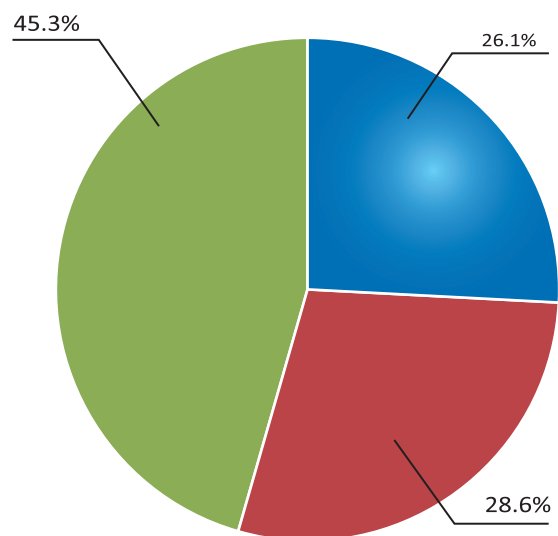


- 現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある
- わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある
- 自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある
- 何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても長続きしなくなる
- 依存性があり、意思の方ではなかなかやめることができない
- 知らなかった

共通質問 7) あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数選択可)
N=20,954



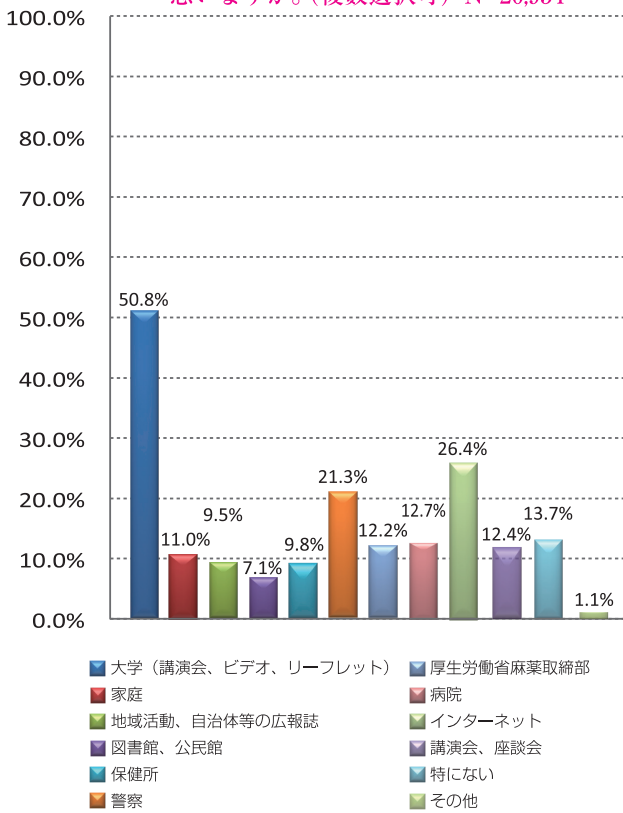
共通質問 8) あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。
(1つ選択) N=20,954



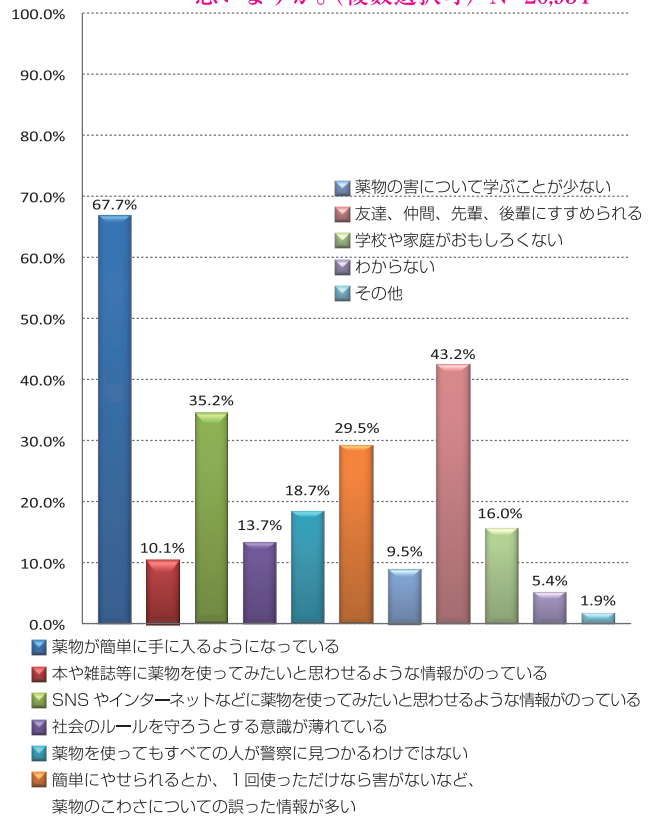
- 知りたい
- 知りたいとは思わない
- どちらでもない

関西四大学「薬物に関する意識調査」

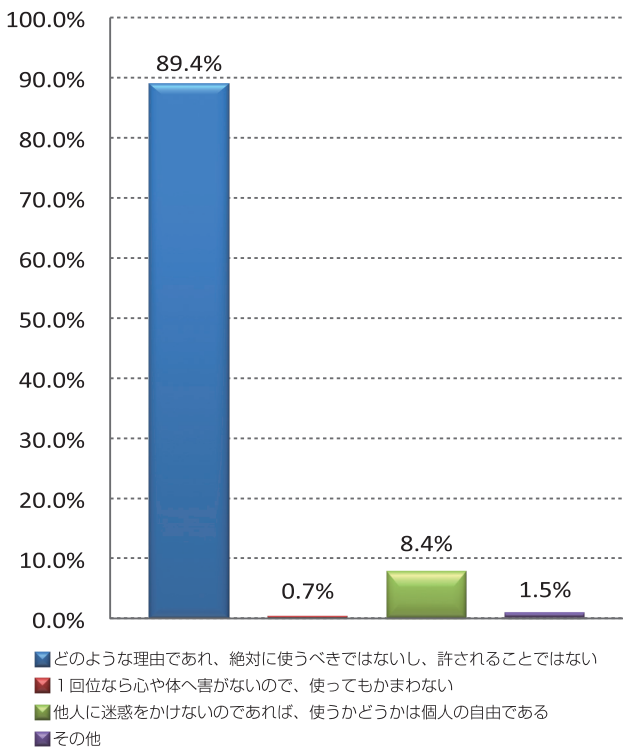
共通質問 9) あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数選択可) N=20,954



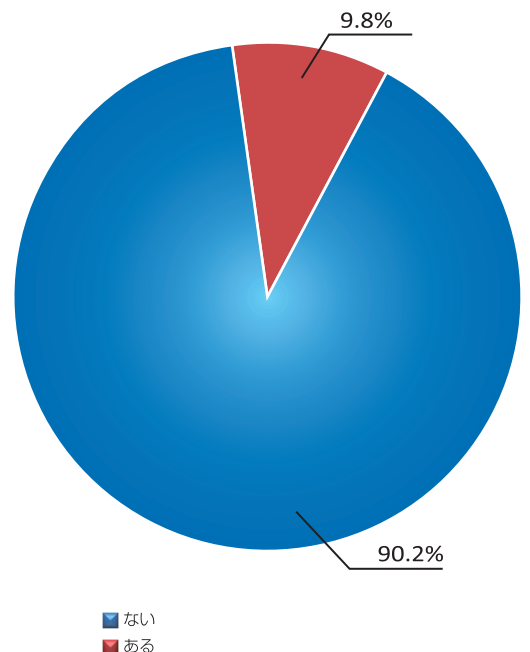
共通質問 10) あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数選択可) N=20,954



共通質問 11) あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択) N=20,954

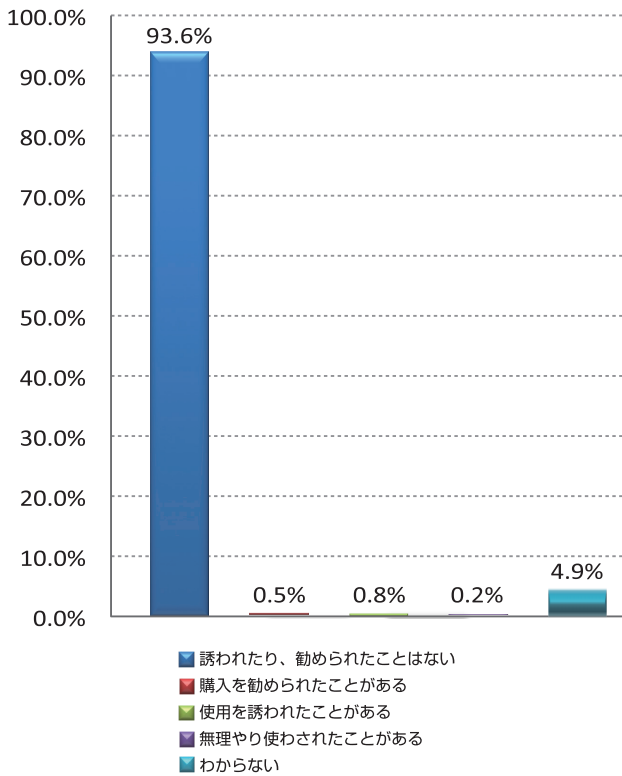


共通質問 12) あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます> (どちらかを選択) N=20,954

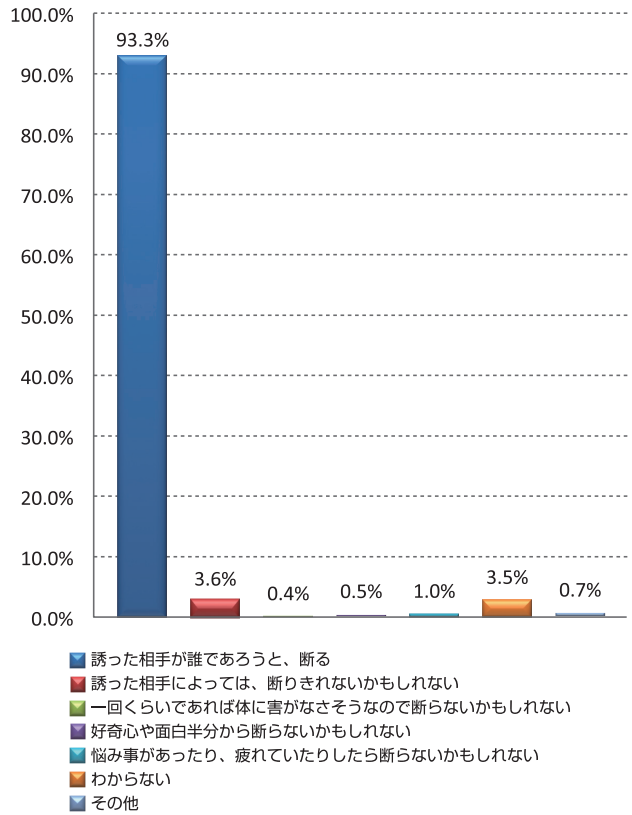


関西四大学「薬物に関する意識調査」

共通質問 13) あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択) N=20,954

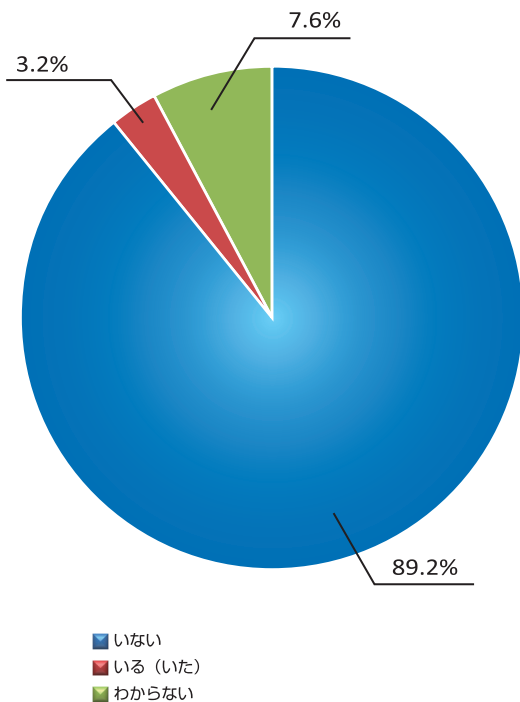


共通質問 14) あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数選択可) N=20,954

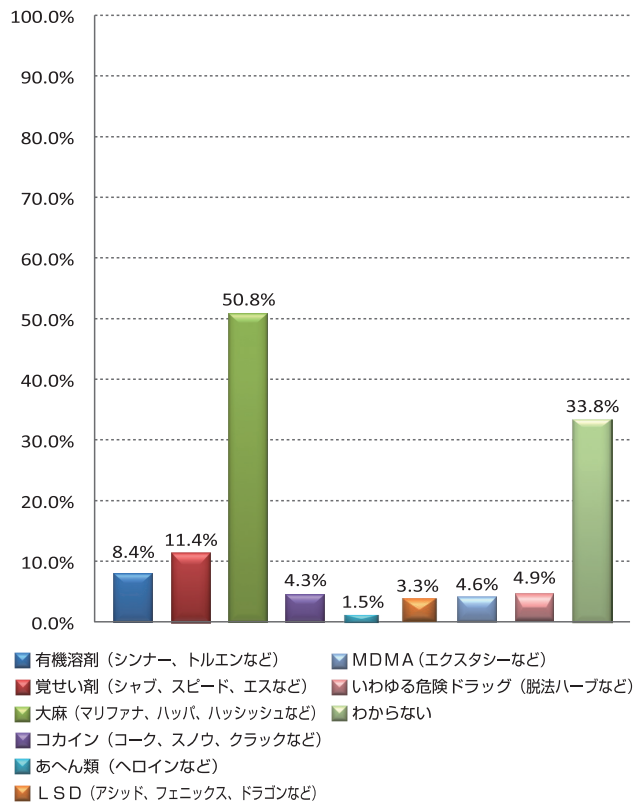


【前の質問で「2 いる (いた)」を選択した人だけお答えください】

共通質問 15 ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している (いた) 人がいますか。(1つ選択) N=20,954

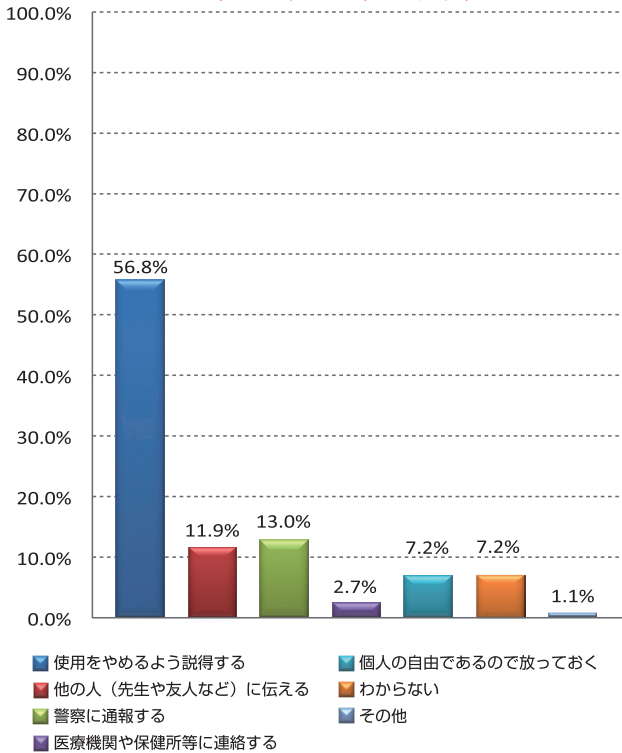


共通質問 15 イ) どの薬物でしたか。(複数選択可) N=675

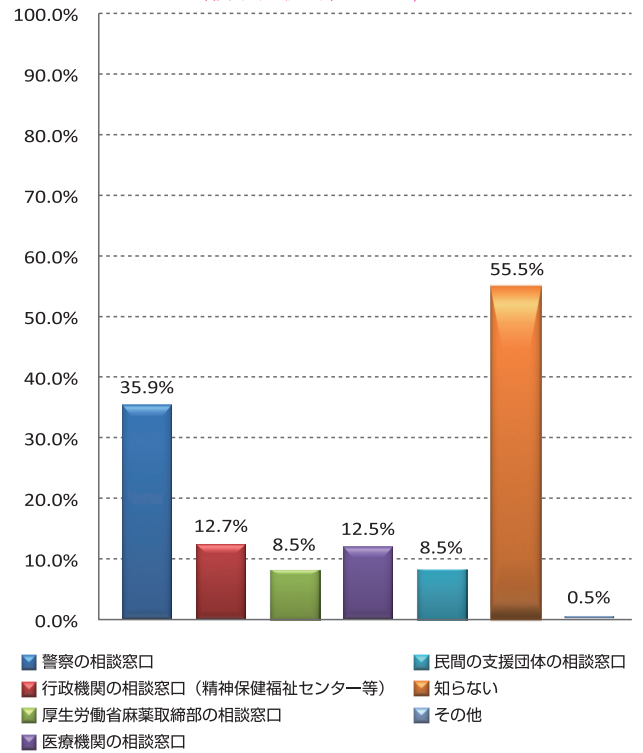


関西四大学「薬物に関する意識調査」

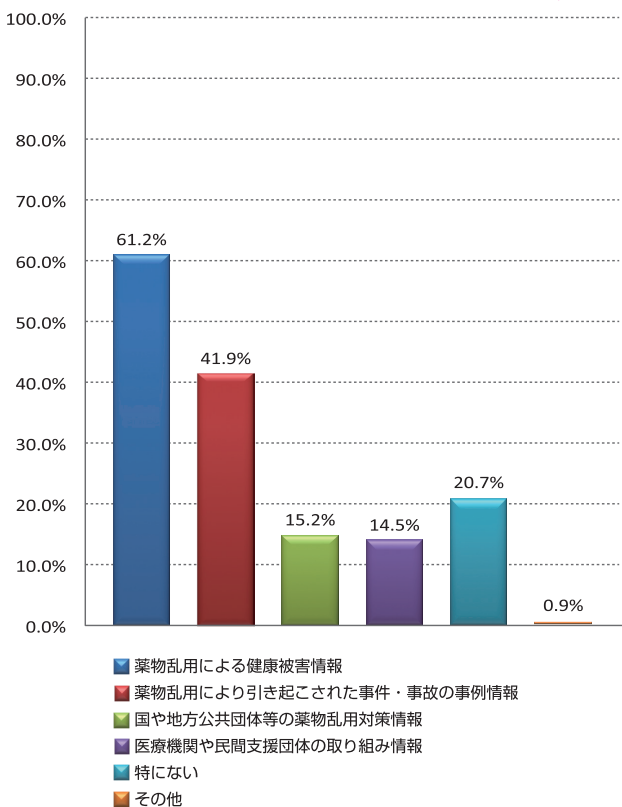
共通質問 16) あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つ選択) N=20,954



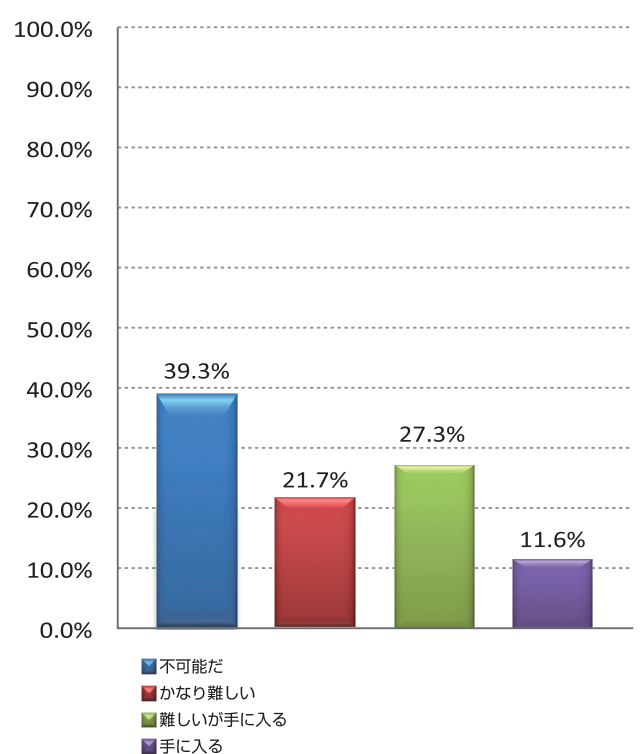
共通質問 17) あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可) N=20,954



共通質問 18) あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたと思う情報は何ですか。(複数選択可) N=20,594



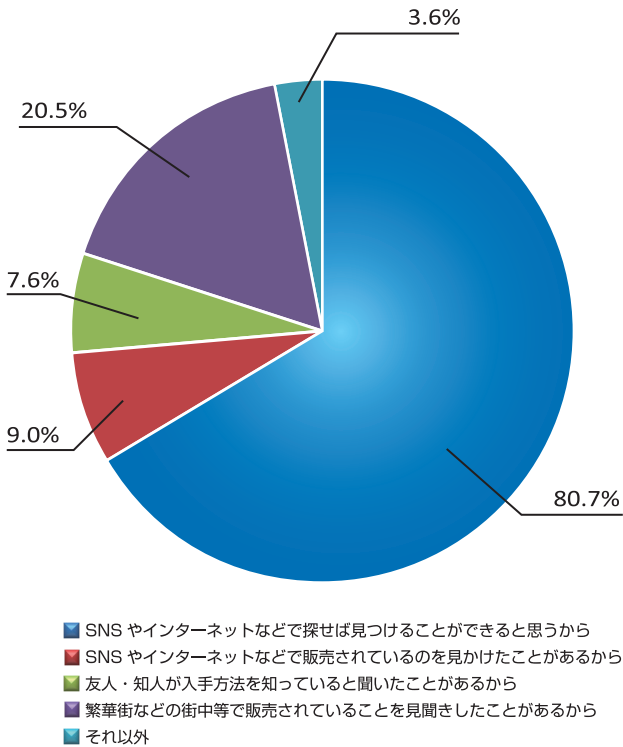
共通質問 19ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択) N=20,954



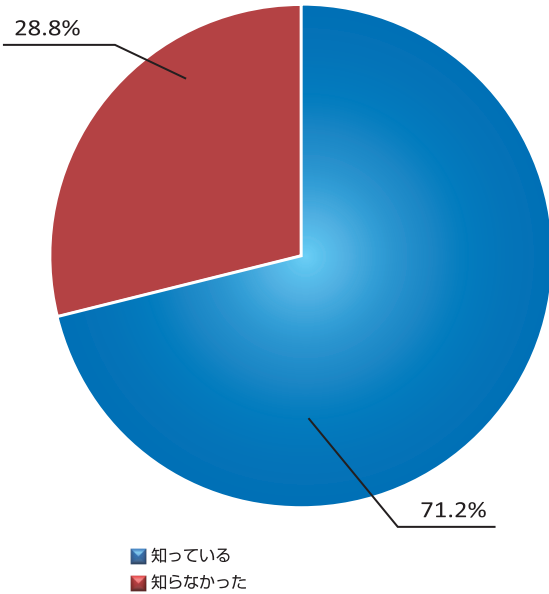
関西四大学「薬物に関する意識調査」

【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】

共通質問 19 イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。
(複数選択可) N=8,094



共通質問 20) あなたは、薬事法の一部改正
(平成 26 年 4 月 1 日施行)により、危険ドラッグと称される
薬物や商品 (脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど) の
多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる
薬物になったことを知っていますか。(1つ選択) N=20,954



薬物に関する相談窓口

兵庫県の薬物乱用問題に関する相談及び指導等

兵庫県精神保健福祉センター	078-252-4980
神戸市精神保健福祉センター	078-371-1900
兵庫県薬務課	078-362-3270

関西学院大学内

保健館 (西宮上ヶ原キャンパス)	0798-54-6023
保健館 (神戸三田キャンパス)	079-565-9045
保健館 (西宮聖和キャンパス)	0798-54-6509
学生課 (西宮上ヶ原キャンパス)	0798-54-6110

